

令和元年度
学校関係者評価報告書

学校法人テレビシティ学院
国際テクニカル調理製菓専門学校
国際テクニカル理容美容専門学校

1. 建学の精神

教育・文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する

2. 教育目的

本校は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第124条及び第125条の規定に基づき、高等学校教育の基礎の上に調理、栄養及び衛生に関する知識及び技能、又は、理容師・美容師になるのに必要な知識及び技能を授ける専門課程を設置し、社会に貢献し得る人材を養成することを目的とする。

3. 教育目標及び方針

(1) 「資格取得に重点を置いた実務教育の重視」

各学科における最高の資格取得を目標とし、そのための能力の育成に努める。

(2) 「即戦力としてのスペシャリストの育成」

施設・設備の充実に努め、各業界で求められる能力の養成カリキュラムを編成し、多くの演習、実習授業を通して、社会で活躍できる知識と技術を備えた実務能力の育成に励む。

(3) 「学ぶことを大切にされた教育」

教育効果を最大にするための基本である学生と教師間の信頼関係の構築に努め、自ら学ぶことを大切にする学生の育成に力を注ぐ。

校訓

継続 奉仕 大志

<評価項目の達成及び取組状況>

(1) 教育理念・目標

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目		自己 評価	関係者 評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	3
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>建学の精神・学校訓等の学校の理念は、学生に対し「学生の手引き」や新入生オリエンテーションにて周知している。保護者への周知についても保護者用の「学生の手引き」や保護者会等の実施、夏休み等を利用しての保護者面談を実施し学生の学習状況や生活状況等の報告に加え、各学科の目標について話しをしている。</p> <p>また、各学科の教育目標や人材育成像に関しては、就職先・実習先企業等の業界関係の方及び本校の非常勤講師の意見をカリキュラムに反映させている。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>学校の理念・目的・人材育成像について外部に向けての発信力が弱いため、告知方法を検討し周知徹底させていく。</p> <p>業界のニーズに応えるべく、外部からの意見を積極的に取り入れ、社会に貢献できる人材の育成に役立てるように更なる検討が必要。</p>			

(2) 学校運営

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		自己 評価	関係者 評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか 有効に機能しているか	4	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	3
<p>(評価の根拠)</p> <p>校運営計画書及び学生募集事業計画書を作成し、教職員の共通理解を図っており、計画に沿って運営がなされている。</p> <p>運営組織については明確にされており、有効に機能しており、規則等の整備もできている。</p> <p>教育活動等の情報公開については、ホームページでリアルタイムに情報発信する他、チラシ等を作成し関係者に配布し公表している。</p> <p>業務の効率化について校内ネットワークを完備し、また iPad 等を利用して情報の一元化や共有化を図っている。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の充実をもっと推進していく。</p>			

(3) 教育活動

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

	評価項目	自己 評価	関係者 評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	3	3
5	関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	3
6	関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3
<p>(評価の根拠)</p> <p>教育理念に沿って学科の特性を生かしたカリキュラムを編成し、社会で即戦力となる人材育成に取り組んでいる。カリキュラムについては、一部、外部からの意見を取り入れ検証している。</p> <p>また、学生に対しての成績評価、単位認定、進級・卒業基準は明確になっており、資格取得に向けた指導体制も充実している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>職業教育については今後、更に企業との連携を図り人材育成に取り組んで行く。</p> <p>関連分野における先端的な知識・技能を修得するための研修の取組について、実施回数を増やすとともに、内容の充実を図る。</p> <p>職員の能力開発については、積極的に外部講師を依頼し、研修を実施するとともに関係団体主催の研修会等に積極的に参加していく。</p>			

(4) 学習成果

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目		自己 評価	関係者 評価
1	就職率の向上が図られているか	4	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4	4
3	退学率の低減が図られているか	4	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3
<p>(評価の根拠)</p> <p>就職部を中心とした就職指導体制は充実している。また、就職率向上のために、計画的に宿泊研修や面接練習会等を実施している。また、担任制を設けており、きめ細かい指導を心掛け実践している。</p> <p>退学率については、学生支援機構の利用もあり昨年度よりも低減している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>退学率については教務部会ならびに退学防止委員会、各系で科会を設置し、退学防止策について協議を行い、更なる退学率の低減を図る。</p> <p>卒業生への定期的な状況把握がなされていない。今後は、卒業生に対するアンケート調査を実施していく。(離職率・満足度・今後の希望など)</p>			

(5) 学生支援

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価	関係者 評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
7	保護者と適切に連携しているか	4	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>就職部とクラス担任が連携をとって、学生の希望を把握し、それぞれの進路決定に適した指導を実施している。</p> <p>課外活動については、部活動や学生会活動へ積極的な参加を促しているが減少傾向にある。今後、更に支援体制を整備したい。</p> <p>高校・高等専修学校との連携については、分野によって本校教員が出張授業を実施し、キャリア教育・職業教育を実施している。</p> <p>卒業生が離職した際も学校求人等で中途採用の企業の紹介をしている。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>社会人のニーズをさらに研究し、社会人の受け入れ態勢及び広報活動の強化を図りたい。</p>			

(6) 教育環境

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

	評価項目	評価	関係者 評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>教育や学校生活に必要な施設・設備は十分に整備されている。 インターンシップについては、組織的に実施している。 防災については例年4月、全校生で避難訓練を実施している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>特になし。</p>			

(7) 学生の受入れ募集

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目		自己 評価	関係者 評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
2	学生募集活動において、教育成果は伝えられているか	4	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>学生募集活動については、教育方針及び教育目標・設置学科・コースや募集要項・入学選考などにおいて、定期的に会議を開催し、検討及び共通理解を図っている。また、オープンキャンパスや会場ガイダンス、高校への訪問においては、就職や資格取得、授業内容など実績を正確に伝えている。</p> <p>学納金は、教育内容に沿った設備や人件費、諸経費等を考慮し算出している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>特になし。</p>			

(8) 財務

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目		自己 評価	関係者 評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>財務については、設立から収入超過のため大きな問題はない。また、予算については在籍数から収入が算出されるため、学校の規模にそぐわない大きな投資をすることもなく健全に計画されている。</p> <p>財務情報公開は昨年度から本校ホームページにて公開している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>特になし。</p>			

(9) 法令等の遵守

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目		自己 評価	関係者 評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
4	自己評価結果を公開しているか	4	4
<p>(評価の根拠)</p> <p>法令や専修学校設置基準等の改正等に沿って学校運営している。また個人情報についても細心の注意を払っている。</p> <p>自己評価については、引き続き組織化し実施していく。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>自己評価について、外部からの意見を更に積極的に取り入れ、より良い学校運営を目指していく。</p>			

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目		自己 評価	関係者 評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	3
<p>(評価の根拠)</p> <p>学生を中心にボランティア活動（学校周辺のゴミ拾いや草むしり、献血等）を推進している。 高校生インターンシップの受け入れや講師派遣としての出張授業、学校外のイベントなどを積極的に実施している。</p> <p>(今後の改善方策)</p> <p>教育資源の活用に向けて、地域に対する公開講座・訓練講座について、今後さらに学校開放や講座内容の充実に向けて実施していく。</p>			

学校関係者評価結果公開資料

学校関係者評価委員会 議事録

1. 開催日時：令和2年4月22日（水）
2. 開催場所：国際テクニカル調理製菓専門学校・国際テクニカル理容美容専門学校
3. 出席者：学校関係者評価委員

事務局 5名

<学校関係者評価委員会の名簿>

氏名	所属	種別
須貝 和司	(一社)全日本調理技能士会連合会 副会長 栃木県日本調理技能士会 会長	企業等委員
門林 秀昭	欧風菓子グリンデルベルグ 代表取締役	企業等委員
福富 辰也	hair designing aria 代表	企業等委員
片山 陽基	HAIR & ESTHE with スタイリスト	企業等委員
田中 翔太	国際テクニカル調理製菓専門学校卒業生	卒業生

4. 議事次第

- ・開会
- ・協議（令和元年度自己評価報告）
- ・閉会

5. 指摘事項・意見等

教育内容、実績を理解いただき、自己評価と同等の評価をいただくことができました。

今後も地域社会に貢献し、社会から認められる優れた人材を育成していけるよう教職員一同力を尽くしてまいります。